

移動教室で「リアル」を感じ取る

副校長 山田 章浩

1学期も半ばを過ぎ、今年も梅雨の時期を迎えます。令和7年度の6月は、5年生と6年生の移動教室があります。(5年生は富士山・山中湖周辺、6年生は白樺湖周辺)

高学年は、2泊3日の宿泊行事での集団生活の中で多くのことを学びます。事前学習では、行く先々の文化や歴史、産業や環境などについて調べます。一人ひとりがテーマを決め、探究していくことで、現地で「リアル」を目の当たりにした時の感動は大きいものとなります。また、高井戸周辺では味わえない多くの自然との出会いがあります。五感をフルに使ったハイキングやネイチャーゲームを通して自然を感じ取ります。山や森の中では、空気の湿度や匂いを感じます。どこからともなく聞こえてくる鳥たちのさえずりや、かすかな水の流れる音を聞き、木の幹や土を触り、大地からのエネルギーや息吹を体全体で受け止めます。これらの体験や感動が、人間と自然とのよりよい関係や共存について考え、古来より大切にされてきた自然環境を未来に残していくために、

自分たちにもできることについて深く考えるきっかけになればと強く思います。スマートフォンなどの普及により、世界中の自然や文化を見たり聞いたりすることが可能になり、私たちを楽しませてくれる社会になりましたが、その中にもあってもやはり「リアル」な体験や時間を大切にしたいと思うのです。バーチャルでは伝えきれない、1分・1秒ごとに変化する温度や音、言葉にできない「感覚」を直接感じ取ってほしい……。そのような思いで、5年生と6年生の出発を見送りたいと思っています。

6月9日～11日が5年生。そして、6月23日～25日までが6年生。梅雨のどまん中での移動教室ですが、必ずよいお天気になります!(なると信じます。)

移動教室中の子どもたちの様子は、HPの「校長だより」に随時アップされますので、是非ご覧ください。全員が、安全に楽しくすてきな時間を過ごせますように。いってらっしゃい!



6月の生活目標 『雨の日の安全な過ごし方を工夫しよう』

生活指導部 宮入 亮輔

梅雨の時期を迎え、雨の日が多くなります。子どもたちは傘をさして登下校したり、滑りやすい道を歩いたり、普段より注意が必要な場面が増えます。学校では、傘の正しい使い方や、傘を閉じたあとのマナー、安全に歩くためのポイントなどについて学びながら、子どもたち自身が安全に過ごすための工夫を考え、実践しています。また、校内では雨の日ならではの過ごし方を楽しみながら、友達と安全に仲良く過ごせるよう、声掛けや環境づくりを大切にしています。



ご家庭でも、雨具の準備や登下校時の注意点について、お子さんと話し合っただけるとありがたいです。